



# 栄光の未来

R7.3.5 発行  
第 27 号

## 卒業生に贈る言葉(式辞)

〔一部抜粋〕

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。加えて、9か年の義務教育の修了を、心よりお祝いたします。

3年前、感染症の流行が続く中で、皆さんは東石山中学校に入学しました。在校生が参加せず、新入生だけの入学式であったことを覚えているでしょうか。

昨年度から、感染症対策が緩和され、状況が大きく変わりました。この後押しもあり、特に最高学年となった今年度は、生き生きと頑張る皆さんの姿を多く見る事ができました。

東翔祭では、リーダー学年として下級生をまとめ、リードする頼もしい姿がありました。また、合唱発表会では、合唱を通して学級のまとまりを力強く示す姿がありました。部活動でも、実力だけでなく、下級生をまとめる優しさとしつこく力強さにあられる皆さんの素晴らしい姿が随所に見られました。

このような姿や頑張りを見せてくれた卒業生の皆さんは、下級生にとって、時には身近で親しみやすい存在でありながら、いざ本気の姿を示したときには、手の届かない大きな姿、頼もしく憧れの存在であったのではないかと思います。

さて、義務教育である中学校生活にピリオドを打ち、自分の意思でそれぞれの歩みを進めることとなる皆さんに期待を込めてはなむけの言葉を贈ります。

今日、地球的規模で激しい気候変動が起っています。生成 AI などのテクノロジーが急速に進化しています。日本では、医療技術の発達と少子化の影響により、超高齢社会が既に到来しています。そして、これからの社会は日々急速に変化し、予測不可能なことが当たり前のように起こると予想されています。そのような社会をたくましく生き抜く力が求められる皆さんに、期待したいことがあります。

それは、「楽しみながら挑戦を続けよう」ということです。経験だけでは通用せず、新たな試みが必要となる場面に多く遭遇するはず。そのときに、自分で考え判断し、自己決定に基づく挑戦ができる人であってほしいと思います。

たとえ期待する結果が得られなかったとしても、チャレンジしなければ生まれるものではありません。また、うまくいなくても、「この方法ではうまくいかない」ということが明らかになれば、それは成功への一歩とも言えます。

皆さんに「挑戦する姿勢」を期待するもう一つの理由は、これからの時代は「変わる事」が求められる時代であるということです。変化の激しいこれからの時代に、慣例や前例踏襲ありきの、いわば守りの姿勢で楽をする、安心するのではなく、勇気をもって変化を受け入れる。さらには、自ら変化、変革を求めて時代を切り拓く存在となることを目指してほしいと思います。

今年度の生徒会は、3年生が中心となり、全校生徒を巻き込んで「校内生活の心得」の見直しに取り組みました。従来の殻を破り、自分たちの手でよりよい学校を創ろうとする姿勢は、まさにこれからの時代に求められる姿そのものです。果敢に挑戦したこの姿勢を、これからも持ち続けてください。

卒業式は義務教育の修了というゴールであるとともに、4月から始まる新しい世界での生活に向けた通過点でもあります。この東石山中学校で過ごした3年間を自信と誇りとして、自分で決めた道を堂々と歩んでいきましょう。

卒業生の皆さんの一層の飛躍を祈念し、式辞といたします。



想いを込めて、卒業合唱「正解」を歌う